

第 1 回 丹波東部(竹田川流域圏)地域総合治水推進協議会 議 事 概 要

事項	第1回 丹波東部(竹田川流域圏)地域総合治水推進協議会	出席者	10名 (事務局除く)
日時	平成25年10月8日 14:00~16:00	場所	丹波の森公苑 多目的ルーム
内容	1. 開会 (1) 開会あいさつ (2) 委員及び出席者紹介 2. 丹波東部(竹田川流域圏)地域総合治水推進協議会の設立について 3. 議事 (1) 総合治水条例について (2) 丹波東部(竹田川流域圏)地域総合治水推進計画(素案)について (3) 今後のスケジュールについて 4. その他(連絡事項) 5. 閉会		
資料	議事次第、出席者名簿、配席図 資料1-1 丹波東部(竹田川流域圏)地域総合治水推進協議会 設置要綱 資料1-2 丹波東部(竹田川流域圏)地域総合治水推進協議会 公開要領 資料2 丹波東部(竹田川流域圏)地域総合治水推進協議会について 資料3 丹波東部(竹田川流域圏)地域総合治水推進計画(素案)説明資料 資料4 丹波東部(竹田川流域圏)地域総合治水推進計画(素案) 資料5 第1回ワーキングでの意見とその対応 資料6 第1回ワーキング議事概要 資料7 今後のスケジュールについて 参考資料1 総合治水条例の概要(パンフレット) 参考資料2 H25.9.2~4の豪雨及び台風18号による被災状況		

1 開会

兵庫県丹波県民局県民局長より、開会のあいさつを行った。
事務局より、委員の紹介を行った。

2 丹波東部(竹田川流域圏)地域総合治水推進協議会の設立について

事務局は、資料1-1により、「丹波東部(竹田川流域圏)地域総合治水推進協議会 設置要綱」の説明を行った。

事務局は、資料1-2により、「丹波東部(竹田川流域圏)地域総合治水推進協議会 公開要領」の説明を行った。

3 議事

3.1 会長あいさつ

会長より、あいさつを行った。

3.2 会長代理人の選出

会長は、会長代理人として梅谷委員を指名し、了承された。

3.3 議事録署名人の選出

会長は、議事録署名人として梅谷委員を指名し、了承された。

3.4 総合治水条例について

事務局は、資料2により、総合治水条例制定の背景、総合治水条例の概要の説明を行った。

3.5 丹波東部(竹田川流域圏)地域総合治水推進計画(素案)について

事務局は、資料3により、地域総合治水推進計画(素案)の概要について、説明を行った。主な意見は、下記の通り。

- ・ 西紀ダムは計画地域内か。であれば、ダムの治水活用について説明いただきたい。(道奥会長)
- ・ 資料3 P15公園2施設とはどこか。(道奥会長)
- ・ 資料3 P25のタンクの事前放流との用語の使用は適切か。(道奥会長)
- ・ 資料3 P31における森林の維持保全は、今は森林の状態が良くて維持保全するのか、森林の質が下がっていてもとに復元する必要があるのか。(道奥会長)
- ・ 河川監視カメラの整備箇所を教えてください。(道奥会長)
- ・ 森林の高齢級との表現は削除してもらいたい。(丹波市森林組合 中尾委員)
- ・ 由良川水系竹田川圏域河川整備計画(変更)の計画期間は20年と聞いたと思うが、総合治水推進計画の計画期間が10年で整合がとれるのか。(市島地区 井上委員)
- ・ 河川対策が1頁で記載され、追加となる流域対策や減災対策が重点的に記載されているが、排水が重要だと考えられる。また、ためる施策についても目標が必要だと考えられる。(市島地区 井上委員)
- ・ テレビのデータ放送が重要であるが、サンテレビでは竹田川の情報がながされていない。(市島地区 井上委員)
- ・ 避難勧告は、具体的な状況説明を併せて行うことが必要だと思われる。(市島地区 井上委員)
- ・ ワーキングでも針葉樹から広葉樹への転換の話があったが、春日地区では、3分の2が広葉樹、市島地区では2分の1が広葉樹である。広葉樹の整備には補助がないため、整備をしなければ広葉樹から崩壊していくことが懸念される。(丹波市森林組合 中尾委員)

- ・ 春日地区住民から黒井川の整備促進の要望書を預かり、会長に提出した。黒井川は、これまでの40年で全長の半分程度の整備であり、今後の20年で整備が進まないことが懸念される。(春日地区 尾松委員)
- 高龍寺橋から下流部は災害復旧の助成事業で改修済み。その上流について平成4年から順次改修を行っているが、用地等の問題もあり、なかなか進んでいない。藤林橋から船城橋までの改修について、河川整備計画(変更)で新たに位置づけ、現在、測量及び予備設計を実施している。なお、黒井川の改修は、河道拡張は行うが、昭和58年9月程度の洪水に対し家屋浸水を軽減することを目標としており、同程度の洪水を安全に流下させるまでには至らない。(事務局)
- ・ 昭和58年の洪水と今回の出水の規模はどの程度違うのか。(道奥会長)
- 今回の出水の検証は行っていないので一概には比較できないが、単純に雨量だけで言えば、昭和58年洪水時は春日で76mm/hr、277mm/24hr、今回、9/2~4は国領で62mm/hr、172mm/24hr、台風18号では市島で23mm/hr、259mm/24hrとなっている。(事務局)
- ・ 黒井川の改修計画について、ホームページを見れない方もいるので、住民に対して情報を発信してもらえようをお願いしたい。(春日地区 尾松委員)
- ・ 河川整備は当然であるが、河川対策だけでは限界がある。山から一気に水が出ており、山地や田んぼでためることが重要である。河川事業には、何億といった費用がかかるため、山地等に思い切った予算措置を考えてもらいたい。(篠山市長 酒井委員)
- ・ 丹波地域は4分の3以上が山林で、山林の保全は重要であり、土地の保全について具体的にどのように行うのか記載してもらいたい。(丹波ひかみ森林組合 藤原委員)
- ・ 河川整備の効果は出ていると思われるが、ゲリラ豪雨等、従前の計画では対応できない。農林と土木が連携し、一体で考えないといけない。(丹波市長 辻委員)
- ・ 河川内に土砂がたまり、能力を十分に生かしていない。見直せるところは見直して実施してもらいたい。(市島地区 井上委員)

4 今後のスケジュールについて

事務局は、資料7により、今後のスケジュールについて、説明を行った。

5 その他(連絡事項)

本日の議事要旨を作成の上、委員に送付するので、内容を確認いただきたい。

次回は、推進計画(原案)、モデル地域での具体的な取り組みを提案する予定である。

本日の質問への回答についても、議事要旨と合わせて、郵送するので、内容を確認いただきたい。

6 閉会

第1回 丹波東部(竹田川流域圏)地域総合治水推進協議会
出席者一覧

(順不同、敬称略)

区分	氏名	所属等	出欠
学識経験者	道奥 康治	神戸大学教授	出席
兵庫県	梅谷 順子	丹波県民局長	出席
流域圏市	酒井 隆明	篠山市長	出席
	辻 重五郎	丹波市長	出席
県民	山崎 義博	篠山市西紀北地区代表 自治会長会理事	出席
	尾松 一郎	丹波市春日地区代表 自治会長会理事	出席
	井上 英道	丹波市市島地区代表 自治会長会理事	出席
関係団体	西山 昇	丹波市土地改良区協議会 運営委員	出席
	中尾 正文	丹波市森林組合 代表理事組合長	出席
	藤原 敦實	丹波ひかみ森林組合 代表理事組合長	出席